

2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年3月12日
東

上場会社名 株式会社トーエル 上場取引所
 コード番号 3361 URL https://www.toell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 孝治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 萩原 正道 (TEL) 045-592-7777
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第3四半期の連結業績(2025年5月1日~2026年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	19,202	△2.1	1,190	△9.7	1,571	△5.7	1,049	134.5
2025年4月期第3四半期	19,605	2.4	1,318	△12.1	1,667	△11.7	447	△65.1

(注) 包括利益 2026年4月期第3四半期 1,241百万円(176.6%) 2025年4月期第3四半期 448百万円(△68.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	55.90	—
2025年4月期第3四半期	22.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	27,813	21,257	76.4
2025年4月期	26,934	20,537	76.2

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 21,248百万円 2025年4月期 20,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2026年4月期	—	0.00	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,136	△0.9	2,007	3.6	2,223	△1.9	1,372	63.0	72.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年4月期3Q	20,884,440株	2025年4月期	20,805,640株
② 期末自己株式数	2026年4月期3Q	2,160,514株	2025年4月期	1,969,874株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年4月期3Q	18,775,859株	2025年4月期3Q	19,563,625株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

以下に記載する事項のうち将来に関する事項は、当四半期連結累計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方で物価上昇の継続により消費者マインドの下振れリスクや米国による関税政策の影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、エネルギー事業においては、適正且つ安価な価格を既存のお客さまに提供すると共に新規顧客開拓を推進し利益の確保に努めました。また、災害時に復旧が早いLPガス設備を積極的に提案するなど継続的な事業基盤の確立を着実に進めました。ウォーター事業においては、高品質な天然の原水をコンセプトとした自社ブランドをより一層浸透させる為、商品の認知施策に注力しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,202百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は1,190百万円(前年同期比9.7%減)、経常利益は1,571百万円(前年同期比5.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,049百万円(前年同期比134.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

① エネルギー事業

LPガス事業においては、卸・総合管理取引の増加、「TOELLライフラインパッケージ」のセット割キャンペーンの活動強化により顧客数を伸ばしたことで販売数量は前年を上回りました。さらに冬場の平均気温の低下の影響により単位消費量は増加しましたが、LPガスの輸入価格が前年同期を下回り、販売価格低下により減収となりました。利益面につきましては、安全性や業務効率向上のためのLPガス用超音波メーター設置の推進、物流強化のための大型タンクローリー取得による減価償却費の増加、また競争激化に伴う顧客獲得コストや人件費の増加がありましたが、LPガスに係る輸入価格の低下により仕入コストが削減されたことで、増益となりました。

小売業界におけるお客さまの争奪戦は激しさを増している状況ですが、当社はこの過当競争を勝ち抜くため、独自の物流システムによるコスト削減などで適正且つ業界平均と比べ安価な価格での販売に努めると共に、自社配送の利点を生かしたお客さまとのリレーションシップ強化等により事業基盤の拡大に努めております。また、災害時の電力確保が可能な電源自立型GHP(ガスヒートポンプ)エアコンやLPガス非常用発電機の提案を強化することで更なる事業基盤の強化も推進しました。

この結果、売上高は14,068百万円(前年同期比2.6%減)、管理部門経費配賦前のセグメント利益は1,346百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

② ウォーター事業

ウォーター事業においては、OEMの販売本数減少などにより、総販売本数が弱含み、売上高は前年同期をわずかに下回り減収となりました。利益面につきましては、物流コストの上昇や、新規顧客獲得のための広告宣伝費を戦略的に投下したことで、前年同期比減益となりました。

ボトルウォーター市場は、より美味しい水を嗜好するお客さまの増加や首都圏を中心としたマンションの高層化に伴う宅配サービスのニーズ増加により年々拡大傾向にあります。このような事業環境の下、当社は高品質な天然の原水をブランドコンセプトとしたピュアウォーターの「アルピナ」「Pure Hawaiian」、北アルプスの天然水そのものをボトリングした「信濃湧水」という3つのブランドを展開、リターナブル、ワンウェイ2種類のウォーターサーバー専用ボトルを取り揃えるなど差別化を図り、多種多様な広告媒体の活用により商品の認知度向上に努め、新規受注につなげてまいりました。また、TOELLライフラインパッケージの拡販を強化しお客さまの開拓を進めると共に、当社の強みである自社配送によりサービス向上にも努めてまいりました。更にOahu Factory(ハワイ工場)では持ち運びに便利な「Pure Hawaiian」のミニボトルを製造し、インターネットによる通販を中心に国内販売を強化しております。本商品は複数の大手航空会社ハワイ便の機内用飲料水としてもご採用いただいております。ハワイに高い関心をお持ちの方々をターゲットに商品の認知度向上を図り、販売数量の増加及び新規顧客獲得につなげてまいります。

この結果、売上高は5,133百万円（前年同期比0.5%減）、管理部門経費配賦前のセグメント利益は910百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ878百万円増加し、27,813百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が342百万円、売掛金が525百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、6,556百万円となりました。この主な要因は、買掛金が200百万円増加したこと等によるものであります。

また、自己資本比率は76.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期通期の業績予想につきましては、現時点では、2025年6月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、気候変動やC P 価格及び円／ドル為替の動向などの不確定な要素があり、今後業績予想に関しては修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,208,870	5,551,862
受取手形及び売掛金	4,054,825	4,577,316
電子記録債権	39,030	43,857
商品及び製品	1,350,969	1,278,943
仕掛品	16,491	17,880
貯蔵品	437,749	483,025
その他	317,079	277,176
貸倒引当金	△7,568	△7,273
流動資産合計	11,417,447	12,222,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,571,966	3,572,658
機械装置及び運搬具（純額）	1,470,401	1,349,921
土地	6,346,408	6,354,873
リース資産（純額）	954,325	837,933
その他（純額）	382,806	590,121
有形固定資産合計	12,725,909	12,705,509
無形固定資産		
営業権	21,550	13,965
その他	725,672	708,362
無形固定資産合計	747,223	722,328
投資その他の資産		
その他	2,195,942	2,314,537
貸倒引当金	△151,809	△151,938
投資その他の資産合計	2,044,133	2,162,598
固定資産合計	15,517,265	15,590,436
資産合計	26,934,713	27,813,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,230,088	2,430,170
1年内返済予定の長期借入金	25,000	—
未払法人税等	180,789	246,661
賞与引当金	229,134	113,800
役員賞与引当金	40,600	36,000
その他	2,100,743	2,201,503
流動負債合計	4,806,355	5,028,135
固定負債		
役員退職慰労引当金	6,510	6,510
退職給付に係る負債	654,285	661,922
その他	929,601	859,580
固定負債合計	1,590,396	1,528,012
負債合計	6,396,752	6,556,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	918,859	950,300
資本剰余金	1,128,003	1,159,444
利益剰余金	19,404,846	20,021,691
自己株式	△1,619,602	△1,771,967
株主資本合計	19,832,106	20,359,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	470,698	618,053
為替換算調整勘定	218,793	266,794
退職給付に係る調整累計額	8,817	4,367
その他の包括利益累計額合計	698,309	889,216
非支配株主持分	7,543	8,391
純資産合計	20,537,960	21,257,077
負債純資産合計	26,934,713	27,813,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
売上高	19,605,942	19,202,189
売上原価	11,751,320	11,315,877
売上総利益	7,854,621	7,886,312
販売費及び一般管理費	6,535,767	6,695,761
営業利益	1,318,854	1,190,551
営業外収益		
受取利息	1,769	3,080
受取配当金	18,881	34,209
賃貸収入	24,290	23,841
スクラップ売却収入	88,830	93,523
為替差益	—	79,076
消耗品売却収入	207,220	51,283
その他	57,948	125,769
営業外収益合計	398,940	410,785
営業外費用		
支払利息	9,889	8,704
為替差損	19,878	—
賃貸費用	15,179	15,093
その他	5,310	5,824
営業外費用合計	50,256	29,622
経常利益	1,667,538	1,571,713
特別利益		
固定資産売却益	65,992	13,658
特別利益合計	65,992	13,658
特別損失		
固定資産売却損	129	2
固定資産除却損	1,188	1,873
創業者功労金	995,000	—
特別損失合計	996,318	1,876
税金等調整前四半期純利益	737,211	1,583,495
法人税、住民税及び事業税	241,257	484,537
法人税等調整額	48,882	49,055
法人税等合計	290,139	533,593
四半期純利益	447,071	1,049,902
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△451	284
親会社株主に帰属する四半期純利益	447,522	1,049,617

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
四半期純利益	447,071	1,049,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,508	147,355
為替換算調整勘定	△14,891	48,564
退職給付に係る調整額	△3,860	△4,449
その他の包括利益合計	1,756	191,469
四半期包括利益	448,828	1,241,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,452	1,240,524
非支配株主に係る四半期包括利益	△624	847

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月13日開催の取締役会決議により、自己株式110,000株の取得、2025年12月12日開催の取締役会決議により、自己株式80,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が152百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,771百万円となっております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「受取手形及び売掛金」に含めていた「電子記録債権」は、表示の明瞭性を高める観点から、当連結会計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に表示していた4,093,855千円は、「電子記録債権」39,030千円、「受取手形及び売掛金」4,054,825千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,445,850	4,654,589	19,100,439	—	19,100,439
その他の収益	—	505,502	505,502	—	505,502
外部顧客への売上高	14,445,850	5,160,092	19,605,942	—	19,605,942
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,445,850	5,160,092	19,605,942	—	19,605,942
セグメント利益	1,317,020	1,070,713	2,387,733	△1,068,879	1,318,854

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,068,879千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,068,386	4,650,640	18,719,027	—	18,719,027
その他の収益		483,162	483,162	—	483,162
外部顧客への売上高	14,068,386	5,133,803	19,202,189	—	19,202,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,068,386	5,133,803	19,202,189	—	19,202,189
セグメント利益	1,346,268	910,580	2,256,849	△1,066,298	1,190,551

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,066,298千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(営業権償却を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び営業権償却は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
減価償却費	1,054,191千円	1,078,617千円
営業権償却	9,660	7,584